

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 熊本県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	八代市立第一中学校 全校生徒 19クラス 726人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（保健体育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	世界を知るトップアスリートの講演をとおして、オリンピック・パラリンピック（以下オリ・パラ）への関心を高め、確かな夢や希望を持った豊かな人生を歩んでいくための一助となることをねらう。
5 取組内容	 <p>「夢・目標を叶えるために大切な事！」のタイトルで講演を行っていただいた。</p> <p>講演の前半では、「夢曲線」についての話だった。落合さんの全日本代表になりたいという夢を叶えるために、どのようなことを経験してきたのかについて話をしていただいた。その中で、怪我をしたときに親やチームメイトなどから支えてもらった経験から「ありがとう」の大切さについて知ることができた経験や病気で入院生活が続く中で、これまで当たり前だと思っていたことが実はとてもかけがえのないものであったことに気づいた経験などを生徒たちに熱く伝えてい</p>

ただいた。また、話の最後に「3C (チャレンジ・チェンジ・チャンス)」が夢を叶える秘訣であるとアドバイスしていただいた。



講演の後半では、女子バレー部の生徒とバレーボールのデモンストレーションをしていただいたり、その他希望した生徒とパスやレシーブの練習をしたりなど、生徒とふれあっていただいた。最後には、落合さんへの質問の時間を設けていただき、多くの生徒が積極的に質問をしていた。その質問一つ一つに対して熱心に、時にはユーモアを交えながら答えていただいた。



<p>6 主な成果</p>	<p>事後のアンケートには、全校生徒のほぼ全てが「東京オリンピック・パラリンピックへの関心が高まりましたか」の問いに、肯定的な回答をよせていた。気持ちの変化に関する回答では、「関心が高まった」「夢や目標につながった」への回答も多かったが、「勇気や元気もらった」「前向きになった」といった回答も多く見られた。今回の講演が生徒たちに夢や希望はさることながら、生きていく上で大切な「前を向いて歩いていく」気持ちを高めていくおおきな要因になっていくものであろう。</p> <p>感想にも前向きな言葉が多く書かれていて、中には本気でオリンピック出場を目指していきたいという意思表示をした生徒や、今現在の不調を乗り越えて絶対にもう一度輝きたいといった決意を述べている生徒もいた。</p> <p>校内では「講演会」として生徒に知らせていたが、感想の中に「今日の授業では」「授業をしていただいて」などの記述も多く見られた。生徒たちは「生き方を教わった」という気持ちを抱いていたようだった。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>事前授業等の確保が難しいため、講演会の形式を取っている。一昨年がパラリンピック柔道、昨年が陸上競技と個人種目であったため、今年度は球技(集団競技)を希望した。集団の中での振る舞いや考え方等も生徒たちに伝えてもらいたいというねらいもあった。</p> <p>また、事後は折に触れて講演会の内容を話すなどしてフィードバックも意識して取り組むようにしている。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>このほかにも講演会等の行事が多くあるため、期日の設定には苦労した。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>世界と戦ってきた「本物」の方の話が聞ける機会はなかなかないので、引き続きオリンピックもしくはパラリンピアン講演会が実施できればと考えている。</p>